

避難時の注意点

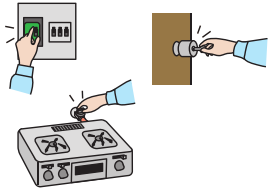
みんなで助け合い、落ち着いて早めに避難できるようにしましょう！

避難時の注意点

■戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行います。

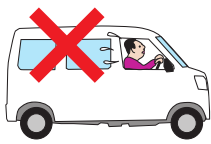
避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょう。



■車での避難は控える！

緊急車両の通行の妨げになります。

浸水すると動けなくなりまですので危険です。



■速やかに避難を！

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。

災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。



洪水・土砂災害での避難の仕方

■歩ける深さに気をつける！

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう！



■履き物に注意！

裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



■ロープでつながる！

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう！

また、水面下には危険が潜んでいます。長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。



■もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意しましょう！

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれます。

土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



援助が必要な人がいたら

■高齢者や病気の方

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。

みなさんと協力して避難しましょう。



■目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。

誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらい

ゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



■耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。

手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



■体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で！

昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



感染症対策

避難所では必然的に密閉・密集・密接のいわゆる「3密」の状態となる確率が非常に高い空間となります。

避難所内での新型コロナウイルスやノロウイルスなどの感染リスクを防ぐためにも、**安全な親戚や知人の家など町が指定する避難所以外に避難することも考えておきましょう。**